

## 雷に注意

旭川市の雷日数(平年値)を見てみると、8月が1.9日、9月が2.1日の発生で、夏から秋にかけて多くなっています。

雷雲接近の前兆として、

- ◆雷鳴、雷光が近づいている
  - ◆真っ暗な雲が近づいてくる
  - ◆冷たい風が急に吹く
- などがあります。

雷から身を守るためによく「時計、めがねなどの金属類をはずす」と思われている方も多いですが、これはあまり効果がありません。その理由は、人間の体の大部分が水分であり、雷は水に流れやすいためです。

雷から身を守るためのポイントを紹介しますので、参考してください。

- 遠くの雷も短時間で頭の上に来ることがあります。ピカッ・ゴロと感じたら屋外から室内、車内に避難してください。(車内は表面を電流が流れるため安全です。また、屋内でも木造家屋では柱に寄りかかっていたら危険です。)
- 避雷針のない建物に落雷すると建物の表面を電流が流れますので、軒先の雨宿りは危険です。
- 大きな木、高い鉄塔等は落雷を受けやすく、2m程度の距離まで二次的な落雷(側雷)が起きます。4m以上離れてください。
- とがったものは危険(電流を流しやすい)です。傘、釣竿あるいはゴルフクラブ等は手放すか、頭の位置より低くしてください。
- 室内では、電力・通信線から電流が進入する可能性がありますので、電気器具やパソコン等はコンセントから抜いたほうが安心です。
- 逃げ場がないときは、姿勢を低く(足を閉じてうづくまる姿勢)して雷雲が去るのを待ってください。

### ◎問い合わせ先

旭川地方気象台 ☎(0166)32-7102

旭川地方気象台ホームページアドレス

<http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/>



## 8月11日は「山の日」

登山者の皆様、登山届の提出を忘れていませんか? 「登山届の提出が面倒」・「日頃よく登っている山だから大丈夫」・「遭難するはずがない」等の理由で登山届を提出しない方がおります。登山届は、登山で道に迷ったり、怪我をするなどして行動不能となった場合、あなたの情報を迅速に収集し、救助活動に役立てるための手段として大変重要なものです。

また、今年から8月11日は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日として、国民の祝日「山の日」となりました。

ふもとには夏の暑さが訪れていますが、山頂付近では夏でも気温が10℃以下に下がることもあり、低体温症で亡くなるなど、過去には大きな遭難事故も発生しています。

夏休みなどに登山をされる方は、気象や地形などの条件を十分に調べ、無理のない計画を立て、万全な準備をし、遭難事故を起こさぬよう注意しましょう。

### ■登山届とは?

- ①登山者の氏名・年齢・連絡先・予定登山ルート・装備等を記入し提出します。
- ②登山届を作成することにより登山計画を見直すことができるため、遭難防止の第一歩となります。

### ■どうやって作成・提出するの?

北海道警察ホームページで作成・提出、様式の印刷ができるほか、印刷した用紙に必要事項を記載の上、近くの交番・駐在所、警察署等へ郵送、FAX等で提出することが出来ます。

〈北海道警察ホームページ(安全登山情報)〉

<https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html>

### ◎問い合わせ先

総務部危機対策局危機対策課防災グループ

☎011-204-5008 (ダイヤルイン)

## 車上ねらい注意!

車内から金品を盗んでいく「車上ねらい」は、一年を通じて発生しており、車内にバッグ等を置いていれば、貴重品が入っていなくても犯人はガラスを割ってその中身を確認します。

被害防止のため、車両を離れる際は、確実に鍵をかけるとともに車内にバッグなどを置かないように心がけましょう。

### 【被害防止のポイント】

- ◆車内に貴重品やバッグなどを放置しない  
(泥棒は物があれば何でも盗んでいきます。)
- ◆車を離れるときは短時間でも必ず施錠する  
(泥棒はドアを開けて遠慮なく物を盗んでいきます。)
- ◆明るく人目に付く駐車場を利用する  
(泥棒が仕事をしやすい場所は要注意!)

### ◎問い合わせ先

環境生活部くらし安全局道民生活課

☎ 011-231-4111 (直通)

FAX 011-232-4820